

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BAT POST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

2025
08
AUGUST

7月支部例会

トップダウンから人的資本経営への転換劇 ～働く人が育ち、未来を創る経営とは～



(株)キャピタルコーポレーション
代表取締役 村井 由香 氏

Contents

- 新会員紹介 ————— P.01
- TOPICS.01 ● 7月支部例会 ————— P.02-03
- TOPICS.02 ● ふくやま企業の夏まつり ————— P.04
- 地区会報告 ————— P.05-10
- 部会だより(青年部・女性部) ————— P.10-11
- 委員会だより(経営労働委員会 他) — P.11-13
- 支部理事会報告 ————— P.14
- 行事カレンダー ————— P.15

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～



(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

NEW
MEMBER

新会員ご紹介

6月
入会



カウンセリング・アロマヒーリング
美容健康商財販売
Harmony (ハーモニー)
代表
小池 亜季(F)

紹介者
スズキオート福山(株) 橋本尚人 氏

メンタルヘルスのカウンセラーとして、心と身体のバランスを整えるサポートを行っております。個人・法人問わず、対話やエネルギーワークを通じて、本来の自分らしさを取り戻すお手伝いをしています。どうぞよろしくお願いいたします。

6月
入会



コンサルティング支援
Step wise Partners
代表
大森 崇雄(S)

紹介者
Apple(株) 小川浩司 氏

福山市出身の中小企業診断士として、マーケティング支援をしています。机上の空論ではなく、皆様の生きた経営から学び、自らの支援に活かしたいです。元気に頑張ります！

名義
変更



エステサロン・理美容・訪問美容
(株)ペイジブル
代表取締役
宇田 隆志(D)

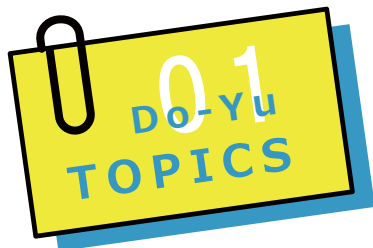
美容機器・化粧品の卸とサロン事業をしています。人口減など外にも内にも課題が多い現状、入会間もないですがすでに同友会で多くの学びを頂いています。しっかり成長し、会社と自身をより良くしたいと思います。



次回新会員オリエンテーション
10月3日(金)19時00

会場：ローズコム

「ようこそ、同友会へ！」会員一同、新会員の皆さまを心より歓迎申し上げます。「3つの目的～良い会社、良い経営者、良い経営環境」の実現に向け、共に切磋琢磨していきましょう。さて、ご入会を機に、少しでも早く同友会の活動に慣れると共に、同友会の目的・理念・歴史を正しくご理解していただくために、「新会員オリエンテーション」を開催いたします。ご入会いただいた方には、早いうちに必ず1度は受講いただくのが「新会員オリエンテーション」です。ご多用中とは存じますが、ご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。



トップダウンから人的資本経営への転換劇 ～働く人が育ち、未来を創る経営とは～

■日時：7月9日(水)
■会場：ローズコム
■参加者数：71名

報告者

(株)キャピタルコーポレーション
代表取締役 村井 由香 氏 (副代表理事)

去る、7月9日(水)、(株)キャピタルコーポレーション 代表取締役の村井 由香 氏 をお招きし、福山支部7月例会を開催いたしました。当日は、71名(報告者・他支部・オブザーバーを含む)が参加しました。今月号では、代表して4名の方の感想を掲載します。



新しい技術、ツールを取り入れ、時代に取り残されないよう取り組まなければならないと感じました。

7月9日にローズコムにて7月支部例会が開催されました。報告者は(株)キャピタルコーポレーション 村井由香氏で、社員教育をテーマに報告していただきました。

社長就任当初は経営の事が何もわからない中、店舗火事など様々な問題に見舞われる中、残った社員と再起を誓い、経営指針作成し、店名統一、賞与変更、個人面談を行い、働きやすい環境になっていきました。報告を聞く中で、社員の声にしっかり耳を傾け、働きやすい環境整備に様々な取り組みをされていると思いました。会社を支えているのは経営者だけではなく、社員一人一人の力で支えられていると思います。その社員が働きやすい環境で力を十二分に発揮できればより良い会社組織になるのだと感じました。

最近ではAI活用、社内独自のアプリ作成など新しいツールを取り入れられています。弊社でも新しい技術、ツールを取り入れ、時代に取り残されないよう取り組まなければならないと感じました。

グループ討論では「社員との信頼関係が築けていますか。また、社員を巻き込んだ経営ができていますか。」というテーマで討論を行いました。社員に信頼されている方もいれば、イマイチ、されてないかな?と様々な方がいました。社内で何かに取り組む、変える時、信頼関係が築けていればスムーズに行える。築けてなければ、思うようにいかず、断念すると思います。信頼とは未来の行動や感情に対する期待なので、信頼関係を築く上で、経営者のリーダーシップや社員とのコミュニケーション、何かを取り組む際の根拠を徹底して行う事が大事だという話になり、大変学びになりました。



(株)サトウシステム
佐藤 郁徳(B)

今回の報告で印象に残ったのが社員さんの声・提案を受け入れやすい環境を作るという部分でした。

7月の支部例会は(株)キャピタルコーポレーションの村井社長の報告でした。村井社長の報告を聞きするのは3回目で、様々な問題が起こる中でも毎回課題に向き合い実践されていることにまだまだ自分自何もできていないと思いました。

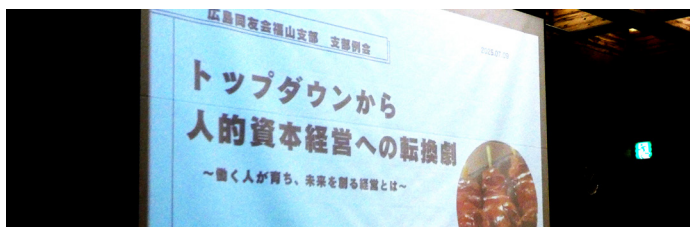
今回の報告で印象に残ったのが、社員さんの声・提案を受け入れやすい環境を作ると言う部分でした。自社でも多少なりとも受け入れていますが、会社にとってメリットがあるか無いかの部分で判断していると思います。でもそれだけではダメなのかもしれないと報告聞いて感じました。社員さんと向き合い、なぜそのような提案が出てきてどう行動していきたいかをしっかりと聞いていかなければいけないと感じました。聞き入れるそして任せてみることも必要なのかと感じました。やはりそこは経営者の覚悟がまだまだ足りないのかと感じられました。

グループ討論のテーマ「社員との信頼関係築けていますか」でしたが、まだまだ築けていないと思いました。日々課題ばかりですが、社員の働きやすい環境を築けるようにしていきたいと感じました。

村井社長ご報告ありがとうございました。



(株)アイム
池田 弘典(D)



困難なことがあっても同友会で学んだことを素直に課題に取り組んでいる村井さんの姿は、パワーを感じキラキラしています。

7月9日水曜日、ローズコムにて広島県中小企業家同友会福山支部の支部例会が行われました。今回は、以前にも福山支部で報告をしていただいた(株)キャピタルコーポレーション 代表取締役の村井由香さんでした。以前の報告は、コロナ禍での大変なときのお話で、そのときの状況を赤裸々にお話していただき、どのようなことに取り組んでいるか、また今後どのように取り組んでいくかをお話いただきました。その報告がとても印象的だったので今回の報告はとても興味深く楽しみにしていました。

私は、入会してからずっと企画委員会に参加しておりますので、企画段階から例会作りに携わることが出来、村井さんのコロナ禍から今までの取り組みを詳細に知ることが出来、とても私の課題解決の指針になりました。これも企画委員の特権だなと改めて確信しました。

今回のテーマは、『社員教育』で村井さんが過去の壮絶な問題から解決に至る過程で学び気付いた、「社員を笑顔にするための経営」のために完全週休二日制やAIの分析を導入し社員との信頼関係を少しずつ築いています。その結果、社員の離職率が低下し、広島県の「働きがいのある企業」に認定されたとのこと。どんな困難なことがあっても同友会で学んだことを素直に課題に取り組んでいる村井さんの姿は、パワーを感じキラキラしています。そんな村井さんの「炭焼雷」に早く行ってみたいくなりました。まさに社長は、最大の広告塔だと思います。同友会でも会外でも大役を担いながら、経営課題にしっかりと取り組んで結果を出している姿を社員さんたちは見ているのだと思います。この姿が一番の社員教育ではないでしょうか。この報告でそう学んだように思います。本当に有難うございました。



フリースタイル(株)
今井 英尚(E)

誰も人に嫌われたくはないと思いますが、社員の育成、成長を本気で考え、向き合おうとするなら嫌われる勇気も必要。

トップダウンから人的資本経営への転換劇～働く人が育ち、未来を創る経営とは～というタイトルでの報告でした。

お話の中でまず衝撃だったのが起こった困難の数々です。店舗の火事、そしてコロナによる休業。火事になったとき改めてこの会社は自分が背負っているんだと気づかされたこと。社長から経営者へ、そして同友会入会、困難をどのように乗り越え、そして今後どうなりたいか、飲食店ならではの悩みや今後の方向性など、とても興味深い内容です。

コロナ禍ではすることがなく、社員でDX化について勉強会を開いたり、結果的に従業員の成長につながったこと。

心に残った言葉で、嫌われる勇気という言葉がありました。誰も人に嫌われたくはないと思いますが、社員の育成、成長を本気で考え、向き合おうとするなら嫌われる勇気も必要。

グループ討論では異業種の方からもいろんな意見が出ました。中にはトップダウンに憧れがあったり、やはり経営は楽しまないといけない、従業員に嫌われたくない、いかに従業員との関係性を取るかが重要、などいかにプレーヤーにならず、人にどれだけ投資できるか、まだまだ自分には出来ていない部分が多く、課題に気づくことができた内容となりました。



吉田労務事務所
吉田 健一(F)



ふくやま企業の夏祭り!!2025 ～知ろう・遊ぼう・体験しよう～

■日時:7月12日(土)

■会場:iti SETOUCHI



7月12日(土)にiti SETOUCHIにて「ふくやま企業の夏祭り2025」を開催しました。なぜ7月かと言いますと、7月20日は中小企業の日・7月は中小企業魅力発信月間だからです。

当日は福山市教育委員会の後援のもと約3,000名の来場者で大いに賑わいました。当日の出展は会員企業、福山支部の地区会・青年部会、JICA中国など合わせて39ブース。お仕事体験、自社の製品紹介、物販、飲食を通して、中小企業の魅力を発信しました。

福山支部は周年行事として、20周年(2003年度)「同友会感謝祭」、25周年(2008年度)「同友会感謝祭」、30周年(2013年度)「お仕事体験&食品販売」、40周年(2023年度)「お仕事体験&飲食」を開催しています。今回の「ふくやま企業の夏祭り」の開催のきっかけは、40周年行事の振り返りの中で「中小企業を地域に向けて発信する機会が次は10年後なのか?」という意見が出たことです。

2024年度の福山支部総会議案書に定期開催検討が記載され、準備は地域内連携推進委員のもと2024年11月から本格始動しました。

当日までの目玉企画は、福山市内の小学生約2万3000人に、「ふくやま企業の夏祭り」で使えるスタンプラリーの台紙を配布したこ

とです。当日までに対象の会員企業を訪問してスタンプを押してもらったとスタンプ「2つでジュース」「4つでフランクフルト」と交換できる仕組みです。当日は用意したフランクフルト300本が早々になくなりました。

最高の仲間に恵まれ、中小企業魅力発信月間に、地域の方に中小企業を知っていただくことができた。会内では会員企業をお互い知る場になったと思います。今回の良かった点、改善点をお伝えし、次回に繋げていけたらと思います。



(株)キャッスル
コーポレーション
馬屋原 聖史(B)



司会 藤原 氏



地域内連携推進委員長
(株)キャッスルコーポレーション
馬屋原 聖史 氏



当日の様子を動画で!



「トムソーヤの大冒険大作戦」～地元で輝くふたつの経営ストーリー～

■日時:7月12日(土)

■会場:iti SETOUCHI tovio

■参加者数:40名

2025年7月12日に、同友会のふくやま企業の夏祭りの中で、組織委員会主催で「トムソーヤの大冒険大作戦」～地元で輝くふたつの経営ストーリー～企画を行いました。

ひとつめの経営ストーリーは(株)福山楽器センター 新庄氏による「会社の空気が変わった日」というテーマで体験報告をいたしました。

当日は、友人のはかせっばい太郎さん(本人演出)によるバイオリン実演奏で大いに盛り上げてからの報告となりました。新庄氏の報告を集約すると、自分は後継者でした。会社はピアノ業者から楽器屋へ事業変革しながら、当時の代表が言っていることを聞いているフリをして、やりたいことをやっていたそうです。

会社が軌道に乗った要因は「EC事業で復活」をあげられました。重要なポイントとして、オークションで販売すること。価格勝負をしないこと。商売は下準備が大事であること。他者がやっていないことをする。SEO対策。システム導入すること。在庫管理の攻守内製化。ヤフーのコメントランキングなどを言われておりました。

この頃から会社の空気が変わりつつあって、チーム編成すれば、回せる仕事や余力ができる。仕事の効率も3倍アップする。システム導入して更に効率化など、同友会に入会して組織を学び会社に落とし込んでいたようです。

まとめとしては、小チームが大きな組織となる。人と人の繋がりが1番大事。思っていることは社員に伝える。経営者は会社のありたい姿(ビジョン)を語ることが大事だということです。



報告者

(株)福山楽器センター
新庄 一貴 氏



(有)アドバンス
藤岡 秀行 氏



ふたつめの経営ストーリーは(有)アドバンス 藤岡氏による「つながりが企業を育てる」というテーマで同友会の魅力と効果について報告されました。

藤岡氏も後継者であって、父である前代表は強烈でパワフルある方で恐れもあったようです。そんな藤岡氏は仕事大好き人間でしたが、他の人や会社に興味がなかった「ロボット人間」だったと言われておりました。

同友会は素敵な出会いから即入会するも、居心地が悪くてすぐに嫌いになったようです。しかし、勢いのある先輩経営者の言葉で、「結局、良かれと持っても行動しない経営者が多い。どうせお前ら何もせんじやろ!」その言葉に腹が立ち火も付き、受け入れて行動することにしました。気づけば、青年部会の全てのお役や全国行事の実行委員長などの大役も全うしていたようです。そんな彼が、血の通った人間になったのは同友会のお役がキッカケで「つながりが企業や人を育てる」ことに気付いたからだそうです。

報告の重要なポイントとして、人と関わることで人格的成長できる。仲間や社員に興味をもって関わること。自己変革は動け動けと行動しないと変わらない。社員もお客様も同じである。人を信頼する。人に興味をもつ。DXを活用した組織をつくるなどでした。

藤岡氏が描く会社の10年後の姿は、社員や仲間と共に夢を描き、地域を良くしていくことだと言われておりました。

この度は、地元で輝く素晴らしいふたつの経営ストーリーでした。ありがとうございました。



(株)住まいの
QUEST
藤井 大聖(F)

A
地区会

A・P 地区合同例会

■日時: 7月17日(木)
 ■会場: 元町ホール
 ■参加者数: 44名

報告者 大畑建設(株) 大畑 徳晃 氏

2025年7月17日(木) A・P地区合同例会が開催されました。A・P両地区会長の大人数で活発な報告や議論がしたい!とのことで実現した例会です。両地区より事前アンケートを取り、共通の経営課題を洗い出し、営業面に経営課題が多いことが分かり、業界が下降気味でも業績を伸ばし続けている、P地区会の大畑建設(株) 大畑氏に登壇いただきました。

報告の中で「あなたの一番の財産はなんですか?」の問いかけから始まり、

- ・業界の未来を創造しているか。
- ・現在の業態で新しい付加価値を創造しているか。
- ・自分のゴールを設定しているか。

など、自分自身を見つめ直せる素晴らしい時間を共有できました。



グループ討論も普段とは違うメンバーで緊張感もあり、活発な意見交換ができ、11月に開催される第2回A・P合同例会に向け良いスタートとなりました。

最後に、お忙しい中登壇してくださった大畑さん、運営をしてくださった両地区の役員の皆さん本当にありがとうございました。



松本ギフト(株)
松本 勝彦(A)

B
地区会

「経営者の心が変われば、組織は変わる」

■日時: 7月16日(水)
 ■会場: ローズコム
 ■参加者数: 56名

報告者 ホリスティックブレイン学院(株)
藤原 留衣 氏

ホリスティックブレイン学院(株)は1986年先代が創業、当初はタッチセラピーからスタート。時代と共に心のケアの重要性が増し、体→心の癒しにシフトチェンジ。現在に至ります。

経営においても働く人の心のケアは重要で、経営者はその重要性に気付き、社員の何気ない行動や仕草から心の奥底の状況を理解する必要があります。非常に難しいですが、これをしないと、採用や定着に支障が出てきます。また、不安やストレス

がある時「見方を変える」事が有効と教えていただきました。例えば「社員が大量に辞めた」事があった場合「やばい」ではなく「組織を見直す良い機会」と捉えれば前向きに進めたりします。

グループ討論では「優秀な社員が2、普通に働く社員が6、不良社員が2の割合の会社があった場合、6の社員のモチベーションを上げるために何をしますか?」でした。6

の社員に関して何かすべきとの意見は少なく、不良社員がいるからこそ組織が回る、との意見が印象的でした。また、自然にしているとリーダーが勝手に現れ、役割分担が決まり、組織ができていくので、あまりテコ入れしないほうがいい、等の声もありました。一緒に討論した皆さんは「人を生かす経営の実践」ができていたようでした。

今回の例会は、心のケア、気持ちの持ちようがとても重要という事を改めて認識できました。発表者の藤原さん、藤井組の皆さん、素晴らしい例会を開催していただき、ありがとうございました。



(株)ケンユー
占部克明(B)



D 地区会

ソーテックスコーポレーションの指針書発表会 ～指針書を活用して感じた変化～

■日時: 7月16日(水)
■会場: 市民参画センター
■参加者数: 22名

報告者

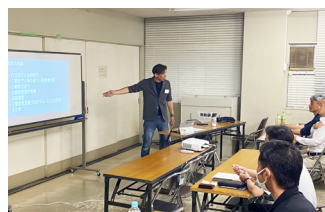
(株)ソーテックスコーポレーション
小野 貴正 氏

経営基礎講座にて指針書を成文化し指針塾にも参加、指針書をブラッシュアップしながら自社への落とし込みをしていざどういった変化があったのかを発表していただいた。

自社の来期の方針の発表もあり、グループ討論では活発な意見も交わされ、自社の強みと弱みをしっかりとわかっていないといけない。という意見も交わされ、指針書の成文化で自社の課題に気付けるのではないかとということで基礎講座に出席しますという方もいました。



(株)ソーテックスコーポレーション
小野 貴正(D)



E 地区会

創業100周年に向けて AI フル活用経営を学ぶ！

■日時: 7月24日(木)
■会場: 市民参画センター
■参加者数: 23名

報告者

(株)三原三共アメニティ 沖迫 義樹 氏

沖迫氏による発表は、100周年に向けたビジョンとAI活用による変革の最前線を感じさせるものでした。特に印象的だったのは、「自立型組織づくり」と「理念経営」の徹底です。理念塾やクレードカード、ありがとうコインによる行動の見える化など、社員の意識を高める仕組みが巧みに設計されていました。

また、AIやDXの取り組みは、業務効率化にとどまらず、営業戦略や教育、評価、マーケティングまで広範囲に及びます。ChatGPTやSalesforce、マニュアル自動化などの導入により、属人化を解消し、社員全体の力を底上げしている点も印象的でした。

さらに、健康経営や働き方改革にも積極的で、Googleマイビジネスの口コミ1,000件超といった顧客からの信頼獲得にも余念がありません。

参加者の意見として、「理念とAIの両輪による経営改革が印象的だった」「AIは親友のような存在。属人化をなくすための鍵」「AIがこれからの経営を変える。取り残されないよう日々勉強にはげまなければならない」といった声がありました。

た。私自身も、AIの活用にも前向きになると同時に、日々の経営に対する姿勢・勉強の大切さ・アプリの利便性や、理念をどう浸透させるかの重要性を再認識しました。

この発表から得た学びを、自社でも活かしていきたいと思えます。



(株)青電設
徳永 治夢(E)



F 地区会

「おもてなし例会」

■日時：7月13日(日)

■会場：走島町 天女が浜

■参加者数：28名

F地区の7月例会は「おもてなし例会」と題して走島町唐船地区の通称「天女が浜」で懇親例会を行いました。

当日は天候にも恵まれ浜辺でのバーベキューをしながら小型ドローンの操縦体験やサップの体験、またメンバーが持ち込んだ水上バイクの搭乗体験などのイベントを実施しました。中でも(意外と)人気のあったのがサップ体験で、穏やかな内海でもバランスを取って立ち上がるのはわりと難しいようで、何度もうっかり返りながらも挑戦を続ける方もおられました。

普段は自身が所属する小組のメンバーなどとしかあまり会話する事がない方も今回の懇親例会で他の小組の方とも色々会話が出来て楽しかったと感想を頂き、担当グループメンバーとしては全員が事故なく帰れた事と併せて安堵しました。



アトネック
宮池 健太(F)



G 地区会

はじめまして、兼田敏弘です。 ～5年以内の事業承継を目指す学校運営のリアル～

■日時：7月16日(水)

■会場：ローズコム

■参加者数：21名

報告者 (学) 教文学園 兼田 敏弘 氏

恐らくG地区会員では初めてとなる“学校法人”を経営されている兼田氏の体験報告でした。入会されて間もないということもあり、自己紹介も兼ねた内容でした。緊張した面持ちであったものの、さすが学校経営をされているだけあり、報告内容のデータや資料はわかりやすくまとめられていました。

兼田氏の経歴は大学卒業からPC関連会社へ就職され、母親の経営する外国人留学生(ネパールとバングラデシュなど)を対象にした語学学校の法人化に伴い、数年後に退職をしてその学校法人の後継者として経営者となりました。私にとって学校法人とはあまり馴染みのない形態だけあり、その経営課題も政府の学校制度変更や教師という人材の確保など、私にとってはとても困難に思いましたが、兼田氏は柔軟に対応されていました。報告している口調や言葉遣い、その立ち振る舞い

で彼の素直な人柄が垣間見えたのですが、その素直な人柄というのは才能だと思います。

30代である兼田氏はまだまだこれから伸びしろだらけと感じたと共に、あまり大きな失敗(挑戦)を経験していないところが弱点かなとも思いました。同友会活動では経営の疑似体験のような要素もあり、挑戦や失敗が許されるところです。これからG地区内で失敗を恐れず果敢に挑戦して、その経験が兼田氏の将来に活かされ、経営者としても同友会会員としても活躍されることを期待しています。



亀井塗装(株)
亀井 太雅(G)



報告者
(兼田 氏)



開会挨拶
(山本 会長)



総括
(井上 氏)



8月例会案内
(杉原 氏)



9月例会案内
(森本 氏)



例会のひとコマ



5年後の事業承継を目指す学校運営のリアル

I 地区会

『ふくやま企業の夏祭り』に合流

■日時: 7月12日(土)

■会場: iti SETOUCHI

■参加者数: 8名

7月のI地区例会は『ふくやま企業の夏祭り』に合流でした。I地区会員のエピソードとしては、イベント内での組織委員会主催の例会において、松永花壇 杉田さん、ソーホーアムラ 栗村さん、(株)ゆうゆ 山本さんがご活躍だったと耳にしました。

また、ソーホーアムラ 栗村さんは写真撮影でもご活躍でした。新会員であるKyykx.s Productの佐藤さんがブースを出展されており、「楽しかったです」との感想を頂いております。ラウンジ ファンタジー 栗村さんもご来場いただき、労いと応援を頂きました。

I地区会としてもブースを出して、フルーツスティックの販売を行ったのですが、午前中は10本も売れませんでした。隣のブースのK地区さんのお菓子のつかみ取りは子どもたちで賑

わっており、そうそうに売り切れとなっていました。

逆の隣のD地区さんは、モルックで遊べるブースであり、これで人が来るんだろうかという心配をよそに、子どもたちが熱狂しており、やはり今回の肝(子ども達の興味関心を惹くのは『体験できておもしろい』。そういうことなんだなあと、大変勉強になりました。

今期のI地区のスローガンは『おもしろくて役に立つ地区会へ』～もっと同友会を知ろう～ということで、変則的な例会ではありましたが、同友会や同友会の会員さんを、普段とは違う角度から知れる良い機会になったのではないかと思います。



バンズグリル
小川 尚範 (I)



J 地区会

庭園越しに福山城を見上げながら家族例会

■日時: 7月27日(日)

■会場: 福寿会館

■参加者数: 8名

7月27日(日)、漆川地区長の発案で福寿会館の座敷二間を貸し切り、11時から15時までオードブルとドリンクを持ち寄り食事会を開催。参加者は8名とこじんまりながら、福山城を望む贅沢な空間でリラックスしたひとときを過ごしました。

和やかな雰囲気の中で、経営の原点や人柄の大切さを再確認。J地区メンバーの温かさが感じられる会となり、今後のコラボ事業の芽も見えました。

最後は座敷でごろ寝するほど心地よく、「座敷でごろ寝例会」に名称変更したほうが、参加者が増えるかもしれません。



岩瀬商店(株)
岩瀬 茂揮 (J)



K 地区会

同友会の活動を家族にも知ってもらおう BBQ 例会

■日時:7月17日(木)

■会場:食辛坊沖野上店

■参加者数:19名

食辛坊 沖野上店にて会員14名、家族5名参加。会員家族を含めての開催で、同友会活動の理解と親睦を深めようという趣旨で開催されました。当初、伏見町お空ガーデンにて野外バーベキューの予定でしたが、天候不良で空調の効いた食辛坊沖野上店にて涼しく開催され、店とコース料理と飲み放題を満喫しました。各テーブルごとに会員ご家族と英会話教室が開催されたり、現在の各自の事業状況について親身に会話が出来たり、子どもさんの参加もあり和やかな空気の中、貴重な時間となりました。途中この度K地区を卒業され、同友会福山支部を流浪の旅に出られる松本さんのご挨拶もありました。益々のご活躍をお祈りいたします。個人的感想ですが、会員の皆様におかれましては個々にいろんな問題を抱えながらも笑顔で会食。ふとした会話の中に困難を克服する皆様のバイタリティ、学習意欲、探究心を垣間見ることが出来、勇気と元気をいただきました。ありがとうございました。



Bar&Cafe
あん梅
目崎 麻理子(K)



P 地区会

圧倒的強者の信念

■日時:7月17日(木)

■会場:元町ホール

■参加者数:44名

報告者 大畑建設(株) 大畑 徳晃 氏

7月例会はA・P地区合同で開催され、大畑建設(株) 代表取締役 大畑氏より「圧倒的強者の信念」をテーマにご報告いただきました。

冒頭、「会場の皆さんにとって一番の財産は何でしょうか?」という問いかけから始まりました。残り2年で事業承継を控える大畑氏は、「私にとっての財産は、人生という『時間』です」と明言。これまでの経験から、「時間の投資がうまくできる人が成功する」「皆に平等に与えられた時間を、いかに感謝されることに費やすかで結果は決まる」と述べられました。プロとして価値を提供することこそが、顧客や社会への貢献であると力説されました。大畑氏が現社に入社された当時を振り返り、「当時の会社には顧客に向き合う姿勢がなかった」と振り返り、これではダメだと考え、自社の5W2Hを整理、特に「Why?(目的)」を明確にすることに注力されたそうです。これが現在の会社の礎になっていると語られました。経営者としての明確な考え方と目的(信念)が確立されたことで、市場の問題点を深く理解し、「選択と集中」したことで人生(時間)へ投資できた結果だと分析

されていました。

また、企業が抱える「売上・利益・採用・社員」といった多様な悩みは、「共感」が得られていないことに起因することが多いのではないかと提起されました。目的、理念、信念は「どの方向から見ても同じ形に見える球体」のようなものでなければ、共感は得られない。顧客や社員と共通の価値基準を共有し、信頼を得てこそ「圧倒的な支持(利益)」が生まれると締めくくられました。

大畑社長、貴重な報告と深い気づきをありがとうございました。



(株)ウッドライフ
川上定保(P)



S 地区会

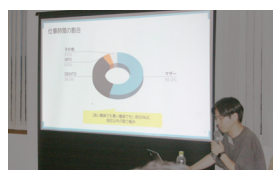
「人を生かす経営」とデジタル時代のチームづくり

■日時: 7月16日(水)
■会場: ジーベックホール
■参加者数: 20名

報告者 (株)マザーアンドチルドレン 安田 剛 氏

7月例会は(株)マザーアンドチルドレンの安田剛氏が「人を生かす経営」とデジタル時代のチームづくりというテーマでの報告でした。「経営者自身の時間の創出」に関するグループ討論が行われ、多くの学びがありました。

報告では、ご自身の生い立ちから、ITベンチャーでの挫折、Uターン後の家具メーカーでの経験、EC企業での成功と退職を経て、現在の会社を創業するまでの軌跡が語られました。起業当初の資金難から「絶対潰れない会社」を目指し、BS(貸借対照表)



を磨き上げるという経営哲学が印象的でした。彼の主要な仕事内容は、ウェブサイトやネットショップの制作に加え、その後の運用サポート、DX関連の人材育成支援で、特に「中小企業の社長の仕事を剥がす」ことを自身のミッションと捉えていると強調されました。具体的例として、顧客の会社での見積もり自動化やオンライン決

済導入支援、そしてウェブ広告の実践が紹介されました。

グループ討論「経営者自身の時間をどう作っていますか?」では、社員への権限移譲とDX活用の実践が共有されました。多くの経営者が「現場が好き」という一方で、「任せられないのは任せ方が下手だから」という厳しい意見や、「経営者が社員に変化を求めるのに、自身がDXを取り入れないのは変化しようとしていない証拠」という指摘も出ました。

例会全体からは、DXが営業効率化や社長の時間創出に大きく貢献すること、そして経営者の時間の費やす中身が重要であるなどたくさんの学びがございました。時間の重要性を再度意識して「即行動」することが、有効な時間を創出することであると思いました。



カケエ・コーポレーション(有)
掛江 悦吏(S)



青 年部

【覚悟とシンカ!! ~七夕の夜に想いを込めて~】

■日時: 7月7日(月)
■会場: ローズコム
■参加者数: 36名

報告者 (株)福創 阿部 功 氏

報告者が決まり、報告づくりまでの期間は短く「時間が間に合うのか」と心配になりましたが、次の小組会ではほとんど完成された報告資料を持ってこれ、さすがAI阿部さんだなと感じました。しかし、班員からは「想い」「人柄」「私生活の状況」などの阿部さんの見えない部分が多く、たくさんの質問が出ましたが、特に、阿部さんは会社を良くしたい想いが強くあったので「自社の社員さんにどう思われているか」に焦点を当て、社員さんに社長、会社への想いを調べるアンケートを取ることにしました。このようなアンケートを取ることは社長にとって勇気のいることではありますが、阿部さん自身、自問自答しながら会社を良くするためと言う気持ちが強く、アンケートの実施に踏み切りました。集計したアンケートの中には厳しい意見もありましたが社長、会社がもっと良くなってほしいと言う意見が多かったです。このアンケートから阿部さんのビジョンや改善点を見直し、報告づくりも試行錯誤しながら完成させていきました。この報告づくりがより良い会社づくりにつながっているのだと体感して感じました。報告づくりで阿部さんや会社だけでなく班員の成長にもつながる、充実した時間でした。

また、阿部さんと深く関わる前は、これまで「真面目」「かたい」イメージが強かったのですが、報告づくりに携わる中で、「人情味」「優しい」などの印象が大きくなりました。この阿部さんの本質も伝えられる報告になったのではないかと思います。

私も阿部さんの報告づくりを通じて、一方的に想いを語るだけではなく社員さんの思いを聞き会社を良くするために行動しなければならないと強く思いました。



(株)ひまわり
高橋 悠大



女性部

『この会社で働けて良かった』
と言ってもらえる会社を目指して

■日時: 7月16日(水)
■会場: ローゾコム
■参加者数: 56名

報告者

ホリスティックブレイン学院(株)
藤原 留衣 氏



7月の女性部例会は、B地区例会に参加させて頂きました。ホリスティックブレイン学院(株)の代表取締役である藤原留衣氏が体験発表をされ、とても興味深い学びの時間を過ごしました。

『人は集団から価値ある存在と認められ、尊重されることを求める』
従業員の8割の悩みが人間関係だそうです。心の安定をサポートするために、メンタルの専門家が重要な時代になり、自分の心を整え、相手の心に寄り添うために、思考のクセを知ることが第一歩だと教えて頂きました。言葉の選択が変わると、現実の捉え方が変わり、認識も変わってきます。

経営者は、従業員の行動の奥にある『受け取りの違い』を認識する事が大切であり、まずは、評価をせず、共感と理解を示し聴くことで、従業員の安心に繋がると教えて頂きました。

それを踏まえ、グループ討論では、『2-6-2の法則』の下位の2のグループへの対応について、意見交換をしました。難しい議題ではありましたが、上位と中間位への影響を危惧する意見があったのも、正直なところでした。ただ、下位の原因が、本人の実力なのか、環境の影響なのかを分析することも大切であり、経営者に限ら

ず、従業員同士でも、知らず知らずに相手に与えている影響力を感じているという意見もありました。人材を活かすことの難しさを改めて感じた討論となりました。

今回の例会の学びは、心と行動は繋がっているということです。『この会社で働けて良かった』と言ってもらえるような職場づくりのために、自分自身の在り方を今一度見つめ直し、今後の会社作りのサポートに活かしていきたいと思います。

藤原さん、B地区の皆さん、ありがとうございました。

一色(株) 一色 真智子



経営労働委員会

■日時: 7月3日(木)
■会場: 事務局・Zoom・サテライト
■参加者数: 33名

経営のキホンの“キ”シリーズ「経営基礎講座」
東部エリア第2講 「描こう!自社の10年ビジョン」

講師

(広島西)
(株)デイ・ディライト 藤原 克明 氏

本日もサテライト会場と事務局にて開催されました。

第2講は(株)デイ・ディライトの藤原社長の10年ビジョンを視聴してグループ討論に入りました。事前に宿題を作成されていた方や2年連続で参加されている熱心な受講者の方々もおられ活気にあふれたワークでした。

短期ビジョンさえも市場の変動から描きにくいのに10年なんて、と思ってしまいがちですが、10年後の社員さんのために給与や社員数などしっかりと数字を入れながら皆さん作り上げました。今の社員の年齢を考えると、自ずと今から採用活動に目を向け行動しなければならないし、頭の中だけでぼんやりと思っていましたが、活字に起こしていく。それも難しい場合は絵を描き自社に飾ることを想像し、その絵を創造することから、社員と一緒に作り始めると理想的な10年ビジョンが描きやすい気がしました。



(株)ニューヴィークル
助友 洋子(K)



■日時: 7月18日(金)

■会場: 福山大学

■参加者数: 企業11社 学生15名

初めて求人社員教育委員会の企画に、社員1名と参加させて頂きました。参加目的は、企画の趣旨とは違うと思いますが、大学生が福祉に興味を持っているのか聞いてみたいと思い自社から近い大学での開催ということで参戦しました。

まずは、企業から学生さんへ聞きたいこと「学生のホンネ 社会のリアル」と題した三択クイズからスタートでした。例えば、中小企業と聞いて何を思うか?①こじんまりした会社②社長の性格が社風に反映される③オンリー1の技術をもっている会社がある。どれが一番手が上がったと思いますか?私は②が多いかと考えましたが、学生さんは③が1番多かったです。こだわりをもって、社員のアイデアを活かせるのが中小企業の魅力なのだと知ることが出来ました。



もう一つ、どんな会社に入社したいか?では①リモートワークが出来て多種多様な働き方が

できる会社②福利厚生(給料や休みが多い)がよい会社③人間関係がよくて、相談しやすい会社。では、②が1番です。やはり、自分の評価、自分の価値を重視していることが伺えました。

反対に学生から企業へのクイズの時間もあり、求める人物像は?私は学歴より人柄重視ですが、学生さんは学歴だと考えている方多数でした。業種や専門性にもよると思いますが、価値観のズレに気付きました。

円になったの交流会では、フリートークで学生さんの生の声を聴けたことは有意義でした。この時間をもっと長くとれたらより満足度が高かったように感じます。福祉に対しての率直な意見も聞けて、様々な関わり方から自社の未来へのヒントを頂きました。



デージー(株)
齋藤 幸恵(B)



新入社員フォロー研修2025(福山会場)

■日時: 7月25日(金)

■会場: 県民文化センターふくやま

■研修生参加者数: 14社18名

本年4月に実施された新入社員研修から3か月が経過し、各社で業務に取り組む中での成長や課題を振り返る機会として、フォロー研修が開催されました。

本研修では、「入社からの3か月間を振り返る」「コミュニケーション」「将来設計(マンダラチャート)」の3つのカリキュラムを通じて、参加者それぞれが自分の経験を言葉にし、他者と共有することで、互いの頑張り認め合う姿が印象的でした。

カリキュラム1では、初めての仕事や人間関係の中で感じたことを語り合い、他者からの温かいフィードバックを受け取ることで、自己肯定感が育まれていました。カリキュラム2では、自分の意見を伝え、他者の考えを聴くという双方向のコミュニケーションが活発に行われ、社会人としての基礎的な力が養われていたと感じました。カリキュラム3では、目標設定の重要性を再認識し、数値化を通じて具体的な行動指針を描くことができました。

4月の研修と今回のフォロー研修が連動し、一過性の学びではなく、継続的な成長を支援する構成になっていることに大きな意義を感じました。カリキュラムの設計から当日の運営に

至るまで、実行委員の皆さんの熱意と協力体制に支えられて研修が成功したと思います。最後に、貴重な学びと交流の場を提供していただいた関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。



協同精機(株)
新川 貴子(B)



■日時：7月1日(火)
■会場：事務局
■参加者数：11名

講師 (株)中尾経営 中尾 友和氏(呉支部)

7月の政策委員会は、呉支部に所属される中小企業診断士の(株)中尾経営の中尾友和氏を講師としてお招きし、今年で3回目の中小企業白書に基づく経営力アップの勉強会を行いました。

私は昨年初めて参加したのですが、その時は白書から現在の景況感を伺う講演かと思っておりましたが、間違っておりました。流石同友会です。白書を読み解き、自社の経営力アップに繋げる勉強会でした。

講義最初に、講師から『去年も同じ話をしましたよ』と言われつつ投げかけられた質問。『事業成功のためのたった一つの考え方とは何か?』自分含め応えられる会員は居らず、『どうやったらそうなるのかを考えて、その通りやるだけ』との回答。続けて成果が出ない経営3パターンの解説。

- ・目標が設定できない
 - ・どうやれば目標に行けるか分からない
 - ・実行できない
- ピリッとした空気で講義スタートです。



中小企業白書の内容は、中小企業を取り巻く環境や経営についての分析、それぞれ産業分野別の将来展望、中小企業のための行政施策の分析の3つに分かれており、これを自社の目標の設定、その達成のために取り組む課題の明確化、更に行政施策を味方につけるために活用すべきツールであることを学びました。

講義後半は、事業別分野指針から現状認識、課題の明確化、目標設定とそのための取り組みを会員各自が考える時間をいただき、参加者それぞれの『どうやったらそうなるのかを考えて、その通りやるだけ』の道筋を持って帰ることができ、政策委員の参加だけではもったいない勉強会でした。



(株)アルファ 保険サービス 森上一弘(P)



バリアフリー委員会

県立福山北特別支援学校／県立沼隈特別支援学校 企業訪問バスツアー2025

県立福山北特別支援学校

■日時：7月29日(火) ■参加人数：学校30名・同友会10名
■訪問先：ペアコム(株)・日栄産資(株)・(有)アドバンス

県立沼隈特別支援学校

■日時：7月30日(水) ■参加人数：学校20名・同友会12名
■訪問先：映クラ(株)・(株)エイトコーポレーション・早間金属(有)

夏真っ盛りの7月、バリアフリー委員会で毎年恒例の特別支援学校バスツアーを行いました。学校からは管理職や高等部の先生だけではなく、小学部や中学部からも大勢の先生が参加されました。

このバスツアーは「障害者雇用」の現場を見学することではなく、地元の中小企業やその仕事を先生に知ってもらうことで、子どもたちの進路や職業教育に役立ててもらおうと同友会の主催で企画実施しています。また同友会側もバスツアーを通じて、地域の特別支援学校を知ることをもう一つの目的にしています。

当日参加された先生の感想をご紹介します。

《先生の感想》

- ・小学部の段階でできること、身につけさせることを考えることができた。
- ・日本の企業が機械化されているが、こうして多くの人達の力で支えられていること、人の力、大切に感動した。働ける人材を育てていきたいと思う。
- ・地元で頑張る企業を知ること、生徒や保護者につなぐ選択肢が増える。
- ・子どもたちが学校を卒業した後、活躍できる場を具体的に知ることができてよかった。将来、こんな職場で働くとしたら、今どんな力をつけさせたいか、子どもたちの将来の見通しを少しでも持つことができたように思う。
- ・(訪問先の企業で)作業の工程表や指示書が貼られており、これを見て作業ができる様に生徒たちを促していきたいと思う。
- ・障がいがあろうとなかろうと、いきいきと働ける環境があることを知れて安心した。



【討議事項】

1)「みんなで経営フォーラムに行こう!〜いこる福山支部、いこる経営フォーラム2025〜」

《藤井友副支部長》

- ・ 今月の広報誌と一緒に、経営フォーラムのリーフレットが入っていました。まずは支部理事が率先してエントリーし、それからフォーラムの意義を広めていただきたいと思います。
- ・ 県総会フォーラム実行委員会では、山西実行委員長のもと、毎月開催し、勉強会も行っています。7月は、経営フォーラムのテーマに基づき、中小企業家しんぶん6/5号の「21世紀型企業づくり」について学びました。今回の経営フォーラムは、この21世紀型企業づくりに基づき、構成しています。例えば、自社の存在意義を改めて問い直す、経営理念は時代や情勢、社会からの期待に応えるものになっているのか、ということです。
- ・ 私たちは理事として、会員にその意味をどんどん広めていく役目があると思っています。資料は地区会に持ち帰っていただき、ぜひ活用してください。
- ・ フォーラムの懇親会では、他支部との交流を深め、事業の発展につながるような会員に出会うこともあればと思います。

《山西 県総会フォーラム実行委員長》

- ・ 私も役目上、他支部で経営フォーラムのPRに行くのですが、藤井副支部長の非常に頼もしい姿を拝見し、すごくありがたいと思いました。本日をきっかけに支部理事の皆さんの回答が進み、地区でもこの思いが伝わればと思います。
- ・ 私が会社の代表を交代する前のことです。社員に数字や生産性、それに伴う行動に至るまで細かく指摘していました。その結果、社員モチベーションは下がり、離職が続きました。私は、この経験から数字だけに注目してほしくないと思うようになりました。この経営フォーラムでも、参加人数だけを地区に持ち帰るのではなく、会員の経営課題にあわせて分科会を勧めることを、地区で広げていただきたいと思います。その積み重ねた結果、参加者が増えると思っています。
- ・ 経営フォーラムでは普段会えない会員とも出会えます。行き帰りの道中も含め、皆さんと一緒に、いい経営フォーラムを作っていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いします。

【報告・連絡】

3)委員会

①総務委員会 【田中委員長】

- ・ 財政部では会費の値上げについて検討しています。進捗はまた報告します。

②組織委員会 【杉田委員長】

- ・ 11月支部例会は組織委員会では、仲間づくり例会として位置付けています。吉田F地区会長が実行委員長を務めます。日程は11/5(水)、報告者は水ノ上氏です。オブザーバーのお声がけと各地区にお知らせをお願いします。

③企画委員会 【内海委員長】

- ・ 7/9に株キャピタルコーポレーションの村井社長を報告者にお迎えして、7月支部例会を開催しました。アンケート結果を見ると、報告・討論を通じて大変高評価をいただきました。一方で参加が71名と非常に少なかったのが残念です。
- ・ 9月は経営戦略と付加価値をテーマに、熊本同友会の(株)マスナガ 森社長にお話しいただきます。7月支部例会と同様、大きな学びを持ち帰れる場にしたいと考えていますので、ご参加よろしくお願いします。

④広報委員会 【春名委員長】

- ・ BATPOSTの原稿提出が全体的に遅れ気味です。期限内に提出いただくよう、地区会長さんはフォローをお願いします。

⑤経営労働委員会 【高山委員長】

- ・ 9月は基礎講座の番外編として、経営指針の実践報告を行います。報告者は(株)QLサービスの黒氏です。経営指針と人を生かす経営の実践を軸とした報告です。各地区でお声がけをお願いします。

⑥求人社員教育委員会 【葛間求人委員長/森川社員教育委員長】

- ・ 新入社員フォロー研修が7/25(金)に無事終了しました。12/5(金)には、福山工業高校1年生を対象にした企業ガイダンスを実施します。
- ・ 7/18(金)に福山大学で、Bingo Job Labを行いました。今回は地元企業の問題をクイズで出しました。次回は12月に学生の模擬面接を行う予定です。

⑦バリアフリー委員会 【代/松岡理事】

- ・ 昨日、今日と特別支援学校のバスツアーを開催しました。会社の細かい様子まで見学させていただき、会員でも勉強になる内容でした。今後は会員

にも多く関わっていただくようにしたいです。

- ・ 8月の委員会は、定例が事務局の夏季休業にあたるため、8/23(土)14時から勉強会を開催します。テーマはLGBTQです。当事者で呉市出身の福正大輔氏にお越しいただきます。Zoomからの参加も可能です。委員会後は映画の上映も行いますので、委員以外の方もぜひご参加ください。

⑧政策委員会 【塩出委員長】

- ・ 第1回の県政策委員会のアンケートが終了しました。県全体では3,000名の会員に対し、2,086件の回答・回答率69.5%と過去最高でした。福山では、655名の会員に対し、427件・65.2%の回答率でした。会員数の関係上、回答数が減っているように見えますが、回答率としては福山支部も過去最高でした。ご協力ありがとうございました。アンケート結果は8月の委員会で報告するほか、福山市との懇談会や行政にも届けます。
- ・ 改めて大変なご尽力をいただき、感謝申し上げます。

⑨環境経営委員会 【高橋委員長】

- ・ 環境経営・地球環境交流会in広島にご参加ありがとうございました。私も初めて分科会の座長を務め、勉強になりました。
- ・ 11月是小林環境副大臣の勉強会、12月は経営指針書と環境問題、2月は(株)カワムラ機工 河村氏の勉強会を開催します。

⑩地域内連携推進委員会 【馬屋原委員長】

- ・ 7/12(土)のふくやま企業の夏まつりにご参加いただき、ありがとうございました。参加目標人数2,000名に対し、3,000名を超える来場者でした。反省、改善すべきところは今後の委員会で共有し、次につなげていきます。

4)地区会・部会

①F地区

- ・ 8/20(水)のF地区例会はM&Aをテーマに広島銀行のソリューション営業部から講師を招き、例会を行います。中小企業としてM&Aされる側や新規事業の視点で勉強していきます。会場はローズコムです。

5)県関係の報告

①県理事会の報告 【豊田支部長】

- ・ 県の役員選考委員会が立ち上がりしました。
- ・ 今月のミニ報告は、藤田経営労働副委員長と村井副代表理事でした。村井副代表理事は支部例会の報告に、県中期ビジョンに沿った経営のお話しをされました。
- ・ 山西県総会フォーラム実行委員長から、経営フォーラムの成功に向けたお話をいただきました。参加目標の前に、まずは経営フォーラムの意義を伝えて、興味を持って参加していただきたいというご報告でした。今年の中小企業白書の中で、「異業種の会で勉強をしている会社は、総じて業績が良い」という掲載があります。同友会として学べる環境をうまく活かしていきたいと思いました。

6)その他の報告

①支部活動費の執行状況 【田中総務委員長】

- ・ 6月末の執行状況のめやす25%に対し、実際は27.7%の執行状況です。
- ・ 支部例会は支払いや実施がまだのため、予算に対して低い執行率になっています。
- ・ 特に大きな問題はありません。

7)【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(4名)

(株)M-design 代表取締役 妹尾 誠(A)

事業概要:住宅の新築やリフォームや店舗などの建築工事を手掛けております。

(株)モダン・プロ 代表取締役 佐藤 充展(D)

事業概要:包装資材・イベント用品・厨房用品・店舗オープン等に対応する卸・小売店

富士建設(株) 執行役員土木部長(後継者) 嘉手苺 宗志

事業概要:土木、建築、舗装などの建築工事の設計・監理ならびに施工

(株)F 取締役 藤井 遊輝(J)

事業概要:りんごアメの販売、洋食を軸にした居酒屋をしています。

■退会希望者(1名)

(有)山本産業 代表取締役 山本 朋生(P)

上記退会希望者の他に、会費の長期滞納に伴う入会資格の喪失が1名(7月県理事会で承認済)

以上承認されました。

これにより福山支部の会員数は657名になりました。

(文責 事務局 本田)

9月行事案内

福山支部 9月例会

三つの課題から生まれる 新しいビジネスモデル

報告者：株式会社マスナガ
代表取締役
森 弘国 氏(熊本)

日時：9月10日(水) 18時30分開会
会場：ローズコム(福山市霞町1丁目 10-1)
会費：無料

申込締切：2025年9月5日(金)

概要：熊本で機械工具や半導体関連部品等の販売を行う(株)マスナガ。後継者として入社した当時の会社を変え、一番最初に取り組んだのは社風の改善でした。森氏の報告から自社の経営戦略について考えていきます。

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	月		青年部	
2	火		政策	
3	水		企画	
4	木	基礎講座 女全交 in 東京	経営労働	
5	金	"	組織	
6	土			
7	日			
8	月			
9	火		求人社員教育	
10	水	支部例会		
11	木		地域内連携	
12	金		環境経営	
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	県理事会		E,I, ダイア
17	水	正副		D,F,G,K,S
18	木			P
19	金			A,B,J
20	土			
21	日			
22	月		総務	
23	火			
24	水	支部理事会		
25	木			
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	役員研修大学		
30	火		広報、女性部	
31	水			

全体行事

A地区会

B地区会

D地区会

E地区会

F地区会

G地区会

I地区会

J地区会

K地区会

P地区会

S地区会

同友会活動の原点 ～学び、つながり、共に築く～

日時：9月19日(金) 19時00分開会
会場：福山富士自動車 会費：未定
報告者：(株)ウラベサインボード 占部 篤彦 氏
入会2年未満の会員さんが増えてきている中で、同友会の基本的な考え方や運営方法を理解し、活動に参加しやすくなつてもらうことを目的とします。

AIを使って経営効率を上げていこう

日時：9月19日(金) 18時30分開会
会場：ローズコム・Zoom 会費：無料
講師：(株)WEAVE 久保 直樹 氏
AIやノーコード開発の取り組み、情報格差をなくし挑戦を支える企業ミッションなど、経営にテクノロジーを取り入れるリアルな現場を感じていただきます。

令和の労務相談

～今聞かなければ、いつ聞くの！？今でしょ～
日時：9月17日(水) 19時00分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
講師：D地区社会保険労務士の方々(佐々木氏、柳井氏、佐藤氏)
日々環境が変わる中、私たちが知っておくべきこと、社員を守る為にやるべきことをご教授いただきます。

AIの本質、本当に理解していますか？ ～自社で活かすための第一歩～

日時：9月16日(火) 19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：Plaque(株) 代表取締役 桑田 賢 氏
AIが新たな価値を創出する可能性を探り、具体的な導入ステップを通して、自社でのAI活用を具体的にイメージできる発表です。

佐藤隆の描くウインテックの 中期ビジョンとは！

日時：9月17日(水) 19時00分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(有)ウインテック 佐藤 隆 氏
佐藤さんの義理の父が経営する(有)ウインテックに入社し、業務改善や新しい挑戦にどのように取り組んできたのか、感じた悩みや課題を知ってもらう場になります。

経営者のマインドが会社の風土を作る ～あなたの会社にあった女性活躍とは～

日時：9月17日(水) 19時00分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(株)のとテック 能登 雅子 氏
地方・中小企業での実践事例を通して、再現性の高いアプローチや、えるぼし・くるみ認定制度の活用法、採用・定着力向上のヒントになる例会です。

どん底からの再出発 ～指針書が導いた逆転経営～

日時：9月16日(火) 19時00分開会
会場：パンズグリル 会費：5,000円
報告者：パンズグリル 小川 尚範 氏
経営の原点に立ち返り、経営指針の本質と価値を小川氏の実体験から学ぶことで、悩める経営者が未来を描く力を養います。

「つどい」 ～多種多様な業種を若い世代へPR～

日時：9月19日(金) 18時30分開会
会場：瀬戸内バル リエット 会費：6,000円(食事代)
人手不足の時代、このような今後の期待ある人材にも私たちは注目する必要があるかもしれません。自分の職をどのように世間広く発信していくかを考える例会です。

「落選から学んだ人生を動かす力」 失敗が人生の土台になった

日時：9月17日(水) 19時00分開会
会場：事務局 会費：無料
報告者：建内レンタル(株) 建内 博行 氏
2024年に福山市議会議員選挙に立候補し多くの方に支えられ奮闘された建内氏。行動する事の大切さや情熱を再確認し力強い経営の一助となる事を目的とした例会です。

P地区の皆様、結果出していますか？

日時：9月18日(木) 19時00分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(株)エムワークス 道下 克巳 氏
地区会長の道下氏より、同友会での学びから考え方が変わったことや、学びから会社で取り組んでいることを報告してもらいます。

自社分析から未来の経営方針の立て方

日時：9月17日(水) 19時00分開会
会場：ジーベックホール 会費：無料
報告者：パンズグリル 小川 尚範 氏
グループ内から作成した経営方針の発表、講師の小川氏にはSWOT、クロスSWOT分析から方針への落とし込みの方法を解説していただきます。

総務

組織

企画

広報

経営労働

求人社員教育

政策

バリアフリー

環境経営

地域内連携推進

青年部

女性部

有志の勉強会

日時：9月22日(月) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：各支部活動費の確認
各地区会例会の企画・報告
全地区合同役員会の企画

日時：9月5日(金) 19時00分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：仲間づくりの進捗確認
新会員オリエンテーションの確認

日時：9月3日(水) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部例会の企画・進捗確認
9月支部例会の確認
今後の支部例会の企画
経営者大賞の準備状況

日時：9月30日(火) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部報9月号について
支部報10～11月号の企画編集
今後の支部報について

全県共通経営指針基礎講座 番外編
「経営指針実践発表」
日時：9月4日(木) 19時00分開会
会場：ローズコム中会議室
会費：無料(テキスト代実費)
報告者：(株)QLサービス 目黒 由成 氏

日時：9月9日(火) 18時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：福山工業高校企業ガイダンス
今後の求人活動
社員教育活動の計画

日時：9月2日(火) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：今後の勉強会の計画

※今月はお休みです

日時：9月12日(金) 19時00分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：8月勉強会の振り返り
10月勉強会の進捗確認

日時：9月11日(木) 18時30分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：今後の委員会の活動計画

未定

日時：9月1日(月) 19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：(株)匠栄 安藤 寛之 氏
主にこれから事業承継を控えた方や事業承継したばかりの後継者に向けた報告になります。

つながりのカタチ ～同友会と私の日々～

日時：9月30日(火) 19時00分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：ホリスティックブレイン学院(株) 林原 慧未子 氏
日々の意思決定や対人関係の中で無意識に陥る思考の偏りを見直し、組織内の誤解・対立・停滞の原因となる認知のズレに気づくことを目的とします。

ダイヤモンドクラブ ～各社の今後の課題解決に向けての取り組み⑥

日時：9月16日(火) 19時00分開会
会場：大下木型製作所 会費：無料
報告者：参加者全員
各社の課題解決に向けての取り組みを報告し合います。